

令和6年 第9回

福生市教育委員会定例会議事録

日 時:令和6年9月24日(火)午前10時00分

場 所:もくせい会館3階会議室

令和6年第9回福生市教育委員会定例会

<議題>

1 議案

(1) 議案第53号

福生市教育委員会教育長職務代理者の指名について

2 報告事項

(1) 報告第26号

令和6年度全国学力・学習状況調査速報値について

(2) 報告第27号

令和6年度福生市学力・学習状況調査の結果について

(3) 報告第28号

第24回福生市子ども議会について

出席委員	教育長	石田 周
	委員	加藤 孝子
	委員	野口 哲也
	委員	新藤 美知子
	委員	高橋 典久

事務局(説明員)	教育長(再掲)	石田 周
	教育部長	中島 雅人
	参事兼教育指導課長	森保 亮
	教育総務課長	大楠 功晃
	教育部主幹	吉本 一也
	学務課長	恒吉 薫
	教育支援課長	森田 尚之
	生涯学習推進課長	菱山 栄三郎
	スポーツ推進課長	近野 淳
	公民館長	佐藤 克年
	図書館長	森本 恭子
	指導主事	竹内 秀礼
	指導主事	田畑 圭洋
	教育総務係長(書記)	岸野 美幸

傍聴人 0人

開会・前回の議事録・日程

【教育長】 定足数に達しておりますので、ただ今から令和6年第9回福生市教育委員会定例会を開会いたします。

議事に入ります前に申し上げます。令和6年8月23日に開催いたしました令和6年第8回定例会議事録につきましては、既に御覧いただいていると思いますが、よろしければ御承認を頂きたいと思っております。よろしいでしょうか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 それでは令和6年第8回定例会議事録については承認されました。

これより本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。日程第1、会議録署名委員の指名を行います。福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、加藤孝子委員、高橋典久委員を署名委員として指名いたします。

ここで追加議案がございますので、事務局より説明を願います。大楠課長

【教育総務課長】 それでは御説明申し上げます。お手元に御配布のとおり、追加議案が1件ございます。追加議案第1として編成をさせていただきました。

内容は、追加日程第1、議案第53号、福生市教育委員会教育長職務代理者の指名について、令和6年10月1日以降の職務代理者の指名を行うものでございます。

【教育長】 ただ今追加日程の説明がございましたが、事務局の説明のとおり、教育長報告の後に追加することに御異議ございませんか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 御異議なしと認めます。それではそのようにさせていただきます。

教育長報告

【教育長】 次に、日程第2、教育長報告を行います。教育長報告を、部長及び参事より申し上げます。初めに中島教育部長より報告いたします。中島部長。

【教育部長】 おはようございます。よろしくお願いたします。それでは私からは、学校所管以外の教育長報告をさせていただきます。

資料の3ページをお願いいたします。まず一番左の列、市の動きでございます。9月3日からは、令和6年第3回福生市議会定例会が、27日までの25日間の会期で行われております。議案といたしましては、令和6年度一般

会計補正予算第3号といたしまして、教育関係では、インクルーシブ教育システム体制整備推進事業や、小学校教科担任制等推進校事業を上程いたしております。また令和5年度各会計の決算についても提案をされているところでございます。

続きまして、各課でございます。まず生涯学習推進課でございます。8月26日より、郷土資料室による、八高線全線開通90周年を記念した「福生と八高線」を市役所1階情報コーナーにて開催をしております。4ページに資料がございます。後ほど御覧ください。

次にスポーツ推進課でございます。こちらは9月7日に市営プールが終了をいたしました。期間中の入場者は2万4,833名で、昨年度と比較いたしますと5,469名減少しておりますが、コロナ以前並みの入場数でございます。翌8日には、同じく市営プールにて、福生市民総合スポーツ大会の水泳大会が開催をされております。当日の参加者は47名で、昨年度より2名を増加したところでございます。

次に公民館でございます。9月18日には公民館運営審議会が開催され、令和6年度事業計画等が審議されております。

次に図書館でございます。8月29日、S&D多摩ホールディングス株式会社とのネーミングライツ・パートナー協定締結式が中央図書館にて行われました。9月1日からは、中央図書館において、S&Dたまぐー福生中央図書館の愛称を使用しております。

その他各課の主な事業、事務につきましては、後ほど御覧ください。

5ページをお願いいたします。こちらは次回定例会までの主な予定でございます。最初に市の動きでございます。10月20日に総合防災訓練が行われます。東京湾南部を震源とする大規模地震が発生し、福生市では震度6弱を観測したとの想定で、福生第四小学校をメイン会場に各避難所にて実施をいたします。また今年は第四小学校の児童も参加する予定でございます。

次に教育総務課でございます。10月8日、府中市にて、東京都市町村教育委員会連合会令和6年度第1回研修会が行われます。こちらには加藤委員、高橋委員が出席予定となっております。よろしく願いをいたします。

10月11日、福生第一中学校において、教育委員会の学校訪問が行われます。教育委員の皆さんにおかれましては、御予定方よろしく願いをいたします。

次に生涯学習推進課でございます。9月28日より郷土資料室「青梅線と福生の砂利輸送」、こちら企画展示になりますが、資料が6ページに付いてございます。こちらのほうも予定してございます。

10月12日に、第24回福生市子ども議会が、市議会議場にて開かれます。詳細につきましては、後ほど担当課長より説明がございました。

次にスポーツ推進課でございます。10月14日、スポーツの日には、福生市民総合スポーツ大会総合開会式及びスポーツフェスティバルふっさ2024が中央体育館にて開催をされます。

次に公民館でございます。10月12日、13日の両日で第45回松林だれでもなんでも展が、さらに11月2日には第54回福生市民文化祭開会式が、市民会館大ホールにて開催予定でございます。

最後に図書館でございます。S&Dたまぐー福生中央図書館の愛称を使用してから最初のイベントとして、10月1日から14日まで、もとやすけいじ氏の絵本原画展を開催いたします。

その他各課の主な事務につきましては、後ほど御覧ください。説明は以上でございます。

【教育長】ありがとうございました。次に森保教育部参事より報告いたします。森保参事。

【教育部参事】 それでは学校教育に関する所管事務について御報告申し上げます。

(1)が、行事等の実施状況についてです。ア、中学校修学旅行、イ、小学校名栗自然教室、ウ、道徳授業地区公開講座、エ、職場体験について、記載の日程で滞りなく実施いたしました。

続きまして、(2)行事の実施予定についてでございます。ア、中学校2校の修学旅行、イ、小学校3校の名栗自然教室は、9月に引き続きまして、記載の日程で実施いたします。ウ、秋の運動会は、小学校5校で実施いたします。その他、道徳授業地区公開講座、職場体験及び中学校3校の合唱コンクールの予定については、記載のとおりでございます。

続きまして、(3)令和6年度教職員研修の参加状況についての御報告です。9ページを御覧ください。本市主催の研修会8講座に加え、東京都教職員研修センターの主催する研修への参加を、表の一番下の欄、項番9にまとめて記載してございます。9月24日現在、延べ615名の参加でございます。教育指導課では、教員の人材育成の観点から、定例校長会において各校長に対して、東京都教職員研修センターの主催研修会を積極的に活用し、教員に1人1講座以上の研修受講を促すよう指導しているところですが、9ページの下段を見ますと、1人当たりの受講数が年々増加しており、校長の指導、助言の結果が如実に表れていると捉えております。

お戻りいただき、第5点目、その他についてでございます。ア、部活動の地域連携、地域移行の検討委員会第3回。失礼いたしました。(4)その他でございます。失礼いたしました。ア、部活動の地域連携、地域移行の検討会第3回でございます。10月29日(火曜日)の午後3時から福生市役所第1棟2階第2会議室で開催いたします。

イ、児童、生徒の活躍です。福生第二中学校吹奏楽部は、8月7日に行われました第64回東京都中学校吹奏楽コンクールにて金賞を受賞し、10月12日茨城県水戸市で開催される第24回東日本学校吹奏楽大会に出場することとなりました。

説明は以上ですが、2学期が始まって約1カ月、大変暑い日が多かったわけですが、児童、生徒は学校生活に一生懸命取り組んでいる状況でございます。秋本番、さまざまな学校行事が予定されておりますが、委員の皆さまには、お時間がございましたら、学校に訪問していただき、子どもたちの活躍を御覧いただければ幸いです。以上でございます。

【教育長】 以上、報告は終わりました。それでは生涯学習と学校教育合わせて、御質問や御意見、御発言等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは教育長報告を終わります。

議案

議案第53号

福生市教育委員会教育長職務代理者の指名について

【教育長】次に追加日程第1、議案第53号、福生市教育委員会教育長職務代理者の指名についてを議題といたします。大楠教育総務課長より内容説明をお願いいたします。大楠課長。

【教育総務課長】それでは議案第53号、福生市教育委員会教育長職務代理者の指名について御説明させていただきます。

11ページをお願いいたします。教育長職務代理者につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に、「教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けた時は、あらかじめその指名する委員がその職務を行う」と規定されており、教育長が指名しております。以上でございます。

【教育長】内容説明は終わりました。

それでは教育長職務代理者の指名を行います。教育長職務代理者につきましては、宇田剛委員を指名させていただきますと思います。なお就任年月日は令和6年10月1日といたします。これに御異議ございませんか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】御異議なしと認めます。よって教育長職務代理者は、令和6年10月1日より、宇田剛委員に決定いたします。

報告事項

報告第26号

令和6年度全国学力・学習状況調査速報値について

【教育長】次に、日程第3、報告第26号、令和6年度全国学力・学習状況調査速報値についてを議題といたします。竹内指導主事より内容説明をお願いいたします。竹内指導主事。

【指導主事】それでは日程第3、報告第26号、令和6年度全国学力・学習状況調査速報値について御説明をいたします。

資料15ページを御覧ください。令和6年4月18日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施いたしました全国学力・学習状況調査について、福生市の結果の速報をまとめましたので説明させていただきます。

令和6年度の調査は、国語、算数・数学の2教科について実施をいたしました。資料左側の表には、令和6年度

の福生市、東京都、全国の平均正答率をまとめております。福生市の枠には、平均正答率の下のかっこ欄に、東京都や全国と比較した値を示しております。右側の表には、令和5年度の平均正答率を参考として掲載しております。

令和6年度の結果の概要について説明をいたします。東京都や全国との比較では、小・中学校の全ての教科において、東京都や全国の平均正答率を下回る結果となっております。全国の平均正答率との差を令和5年度の結果と比較しますと、中学校の国語以外は差が広がっていることが分かります。

続きまして、資料16ページを御覧ください。こちらの資料は、各種学力調査結果における福生市立学校の平均正答率の全国比、東京都の調査においては全都比を、平成26年度から令和6年度までの経年でまとめた資料となっております。同一母集団における経年変化を見ることができます。同一母集団は同じ色で表しており、例えば令和2年度の赤枠で囲んでおります小学校第5学年の児童は、令和6年度では中学校第3学年となり、同じ集団を示しております。アンダーラインは、同一調査において前年度の数値を上回っていることを表しております。

今後はこれらの結果を校長会や教務主任会で報告するとともに、各校は自校の結果を踏まえ授業改善推進プランを作成してまいります。教育指導課といたしましては、学校訪問や授業監察等の際に、授業改善推進プランに基づいた取り組みが着実に実践されるよう指導、助言を行ってまいります。説明は以上です。

【教育長】 内容説明を終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 あくまでこれ統計といいますが、数字ですから、傾向ということで捉えるというふうには思います。ただ、やっぱり伸びてない、落ちているってことを考えた時に、ただ単に授業の内容、授業改善とかそういうこと以前に、例えば事情っていうんですかね、教育環境。福生の場合って、例えば、ほら、担任がいなくなっちゃったとか、教員があれだとか、生徒がその学年はたまたま非常に落ち着かなかったっていう、教育環境が大きくやっぱり作用していくっていう。そこで欠け落ちてる部分って、やっぱり常に頭に入れとかなきゃいけないと思うんです。ですから、単に授業の問題だけで伸びがあれするのか、それともやはり教育環境そのものを、しっかりと学校として見て、手立てを取っていくことで改善をしていくのか。そのあたりはやっぱりきちと捉えることが必要だと思いますので、そのあたりもまた学校のほうにぜひ御指摘、御指導お願いしたいと思います。

【教育長】 ありがとうございます。他の委員さんどうでしょう。今、新藤委員のお話受けて、何か御発言ありますか。よろしいですか。竹内指導主事、どうでしょう？ 竹内指導主事。

【指導主事】 教育環境の面も影響はあるかと思います。ですので、数値はあくまで数値、傾向としてお示しております。学校のほうにも報告していきますが、やはり目の前にいる子どもたちの実態をよく見て、その子どもたちに合った手立て、授業改善の取り組みを進めていこう、学校に指導、助言をしてまいりたいと思います。

【新藤委員】 よろしくお願いたします。

【教育長】 よろしいでしょうか。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

この問題については、これまでも、もうこの十数年間あらゆる手立てを取ってきている状況の中で、今のお話を受けまして、やはり子どもの生活習慣の見直しというようなこととか、家庭との連携のさらなる推進、強化なども考

えていかなきゃいけないなというふうに思っています。コミュニティ・スクール委員会のほうにもこの情報提供をしておりますので、そういったものを通じて、今後もしっかりとやっていきたいというふうに思っております。

それでは、ないようでしたら質疑を終わります。

お諮りいたします。報告第26号は報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 御異議なしと認めます。よって報告代26号は報告のとおり承認されました。

報告第27号

令和6年度福生市学力・学習状況調査の結果について

【教育長】 次に、日程第4、報告第27号、令和6年度福生市学力・学習状況調査の結果についてを議題といたします。竹内指導主事に内容説明をお願いいたします。竹内指導主事。

【指導主事】 それでは、日程第4、報告第27号、令和6年度福生市学力・学習状況調査の結果について御説明をいたします。

資料19ページを御覧ください。本調査は、令和6年4月、小学校第2学年から中学校第3学年までの全児童、生徒を対象に、国語、算数・数学と意識調査、中学校は英語を実施いたしました。

項番1、教科に関する調査の結果を御覧ください。(1)(2)(3)の表は、令和6年度の国語、算数・数学、英語の結果を表しております。表の数値は、全国の平均正答率に対する福生市の平均正答率の割合を百分率で表したものです。令和6年度だけを見ますと、国語、算数・数学では、全ての学年で全国平均を下回っております。中学校の英語は、第2学年において全国平均を上回りました。令和5年度の結果と令和6年度の結果を同一母集団で比較しますと、一部の学年において向上が見られましたが、小学校の高学年及び中学校の第3学年で低下が顕著に表れております。教科別に見ますと、算数・数学で80%を下回る結果となっております。

各教科の表の下のグラフを御覧ください。各学年、教科別の学力層割合を示しております。この学力層とは、受験者を成績の良い順に4分割したAからDのグループのことです。福生市の学力層割合を見ますと、国語、算数・数学については、多くの学年でC層、D層、いわゆる学力下位層の割合が高くなっております。一方英語につきましては、中学校第2学年及び中学校第3学年で、A層、B層、学力上位層の割合が55%を超えております。以上のことから、中学校の英語で学力向上に一定の成果が見られておりますが、全体としては学力下位層の底上げを図ることが継続した課題と捉えております。

続きまして、資料右側、項番2、意識に関する調査の結果を御覧ください。(1)では意識調査の平均スコアをまとめた表を示しております。意識調査を、学びの基礎力、社会的実践力、学級力、家庭学習力の4つの視点で分類した際の肯定的回答の平均を数値化したものです。全国スコアを上回っている枠には青色、3ポイント以上下回っている枠には赤色で色付けをしております。学年別に見ますと、中学校第2学年で全国スコアを上回る、もしくは同程度の結果が出ております。一方で小学校第5学年で大きく下回る結果となりました。視点別に見ますと、家庭学習力が多くの学年で全国平均を下回る結果となっております。

(2)は、福生市教育振興基本計画実施計画の事業指標に関する意識調査の結果です。前年度から低下して

いる学年もありますが、全ての学年で肯定的回答が85%を超えており、高い肯定的回答割合を維持しております。

(3)は、学力と関係の深い質問項目です。学力と関係が深い質問とは、学力層のA層とD層の肯定的な回答の割合の差が大きい質問のことを指しております。アとイは共に学習継続力に関する報告です。このことから、学習継続力に関する指導を充実させることが学力の向上に効果的だと考えられます。また今回低下が顕著であった算数・数学の学習方略に関する項目も、A層とD層の差が大きくなっていました。ウの結果からは、自分の考えを説明するような学習を積み重ねるよう授業改善に取り組むことが効果的だと考えられます。

続きまして、資料上段右側枠内、調査結果を踏まえた授業改善の取り組みを御覧ください。

取り組み1、個別最適な学習カリキュラムの実施についてです。福生市学力・学習状況調査は、ミライシードのドリルパークと連携しており、調査結果を基に、児童、生徒一人一人に合わせた個別ドリルと確認テストが生成できます。個別ドリルと確認テストは、夏季休業日中の課題として取り組むよう各学校に依頼しております。個別ドリルと確認テストの進捗状況は、教員がオンラインで確認ができます。各学校は、コメント機能を使って、学級担任等が励ましのコメントを送信する取り組みを行っております。各校の取り組み状況につきましては、10月の教務主任会で共有する予定となっております。

取り組み2、授業改善推進委員による組織的な授業改善の推進についてです。7月16日に各校の管理職、研究主任、授業改善推進委員を対象とした結果分析会を開催いたしました。結果分析会では、福生市全体の傾向とともに、調査結果の見方や分析の方法について説明をいたしました。各校は、結果分析会での協議を踏まえ、自校の結果分析を基に授業改善推進プランを作成し、2学期以降の授業改善に取り組んでまいります。今後は学校訪問や授業監察等の際に、この授業改善推進プランに基づいた取り組みが着実に実践されるよう指導、助言を行ってまいります。私からの説明は以上となります。

【教育長】 内容説明を終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。野口委員。

【野口委員】 ただ成績を上げることがだけが目的ではなくて、子どもたちが楽しく学ん結果が成績向上につながるように、幼保の先生方と共有できると良いと思います。包括協定もありますし、コミュニティ・スクールの委員を務めている園長先生もいますので。

今、福生市の幼保では市のバックアップを受けながら「探究的な活動」を実践したり、研修したりしているのですが、そういう新しい取組で得た情報も、小学校の先生たちとも共有して、子どもたちの学びの意識の向上につながれば良いと思います。「なるほどこういうやり方もありますね」と幼保小で意見交換ができる土壌が出来ると良いと思います。

【教育長】 ありがとうございます。今、CS委員会の話もございました。もしそういう例が少しでもあれば、校名は特に出さなくていいですけど、菱山課長いかがですか。

【生涯学習推進課長】 ありがとうございます。CS委員の中には、保育園の先生がいらっしゃいますので、情報を共有できるようにしていくことと、あと当方で各学校のCS委員会に年に1回は必ず訪問しておりますので、委員会の中で情報共有して進めていきたいと思っておりますので、御意見ありがとうございます。

【教育長】ありがとうございます。野口委員、かなり学力の結果を見てびっくりされてた委員さんもいて。その学校は、漢字検定でしたかね。

【生涯学習推進課長】先日、ある学校に訪問しましたら、学力についての分析や課題が話題となりました。このような話題はCS委員会の中でも共有しておりますので、みんなでタッグを組んで対応できるのではないかと考えております。

【教育長】ありがとうございます。野口委員さん、かなり学力の結果を見てびっくりされてた委員さんもいて。その学校は、漢字検定でしたかね。

【生涯学習推進課長】CS主催の漢検を実施すると伺っております。

【教育長】漢検を新たにやろうっていう学校があり、そういったことで、できるところはないか、さっきの環境の話じゃないですけども、整えていく雰囲気とか機運はあると思います。ただいまの幼保小の関係も含めて校長先生方にお話をしてみたいです。

【野口委員】幼保の先生方と「小学校に入学する前に何を教えるべきだろうか」、「小学校の先取りをした方が良いのではないか」といった話をすることがあります。ただ、私は小学校の先生の話の伺う中で、先取り学習の必要性はあまりないと感じています。

多くの幼保の先生が小学校の先生方と意見交換をする中で、「小学校でうまくやるための先取り教育」よりも、じっくり考えたり辛抱強く取り組んだりといった「基礎的な力」の方が必要だということになれば、「では、幼保でも小学校にうまくつながるような教育をしましょう」となって、その連携が子どもたちの成績向上につながればいいなあと、期待と希望を込めて意見を述べさせていただきました。

【教育長】極めて重要な意見だなというふうに思っておりますが、指導課のほうから何かありますか。竹内指導主事。

【指導主事】今、幼保の話題、ありがとうございます。今、先ほど説明をいたしました19ページの資料の項番2の意識に関する調査の結果、(1)の意識調査平均スコアですが、学力向上が見られた学年では青色、課題が見られた学年では赤色になっております。この意識調査の肯定的スコアが高いと学力も向上していると捉えておまして、例えば学びの基礎力ですと、具体的には、朝食は毎日食べているとか、学校に行くのが楽しい、また学級力だと、学級のために活動に取り組んでいる、時間を守っていると、そういった意識に関する項目がございます。幼保小連携推進委員会の中で話題にしていくことで、学びを支える基盤の部分が共有できていくのではないかと考えております。以上でございます。

【野口委員】ありがとうございます。

【教育長】よろしいでしょうか。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 すいません、これ別に私は裏付けを持った話ではないのですが、この表を見ると、中2、中3あたりから、普段からこつこつやるであるとか、それから分からないことを分かるまで努力するというような数値が、やっぱり落ちておりますよね。中2あたりから落ちてくるっていうと、学校現場の中で問題になってたのは、やっぱり部活との関係っていうのはあったんです、福生一中でも。やっぱり部活にすごく生活習慣をぴしっとさせる、精神力を付けさせる、忍耐を付けさせるというような目的の中で、部活にもものすごく、あと地域に出さないとかいうことも含めて、非常に部活に力を入れた結果、結局授業でもう学習は終わってしまう。その後取り戻すとか、新たに振り返るとかということが保証される時間が取れないっていう、やっぱりその辺のせめぎ合いは常にありました。

ですから、もちろん部活の位置付け等は今後また変わっていったりもすると思いますが、学習の項目を考える時に、やっぱり子どもの1日の生活の、学校の生活の流れというんですかね、そのあたりも含めて。もう部活6時近くまでやってたくたで帰って、ほんとにゲームやってテレビ見て寝ちゃうみたいなの、それで遅刻して学校へ来てみたいなの、そういったようなことが、そういうことがあった時に、やはり部活をどう捉えていかってということは、一中の時にも大きな教員間の課題にはなりました。そのあたりがどう今どう進んでいるのか、改善されてるのかちょっと分からないんで私も抜けてるんですが、そのあたりのところも1回なぞってみていただけると、このあたりが生きてくるかなというふうに思います。広がりが出てくるかなと思います。

【教育長】 ありがとうございます。部活は今ちょうど話題になってるところですけども、中学校の話題ですが、どうでしょうか。何かお話ありますか。森保参事。

【教育部参事】 新藤委員、ありがとうございます。確かに中学生の部活動で、真剣にやっている生徒は、新藤委員のおっしゃったとおり、なかなか自宅に帰ってこられず、勉強の時間が確保できない生徒も少なくはないだろうと思います。

ただ厳格に顧問がしっかり部活に入って、指導するっていう状況は、昔ほど少なくなってきている状況でもありますし、生徒の体調面を考えて指導しているところもございますので、校長としては「部活で子どもが勉強できないんです」という声は保護者からは聞こえてこなかった印象がございます。ただ、集中できないっていうことも、1つの視点としては、しっかり押さえておかなければいけないところだとは思っていますので、引き続きそこは注視してまいりたいと考えます。

【教育長】 ありがとうございます。ほんとにあらゆることをいろんな方向から考えて、やれることは何でもやってこうと思ってますので、また御意見のほうよろしくお願ひしたいと思います。

他に御意見ありますか。よろしいですか。では、ないようでしたら質疑を終わります。

お諮りをいたします。報告第27号は報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 御異議なしと認めます。よって報告第27号は報告のとおり承認されました。

報告第28号

第24回福生市子ども議会について

【教育長】 次に、日程第5、報告第28号、第24回福生市子ども議会についてを議題といたします。菱山生涯学習推進課長より内容説明をお願いいたします。菱山課長。

【生涯学習推進課長】 それでは、日程第5、報告第28号、第24回福生市子ども議会の概要について御説明をさせていただきます。

資料は23ページを御覧ください。事業概要がございます。まず1の目的でございますが、(1)から(3)まで記載をさせていただいているとおりでございます。

次、2の実施日につきましては、10月12日(土曜日)でございまして、時間は午前9時30分から正午までを予定しております。またリハーサルにつきましては、10月9日(水曜日)と10日(木曜日)の2日間行われる予定でございます。

3の会場でございますが、市役所第2棟5階市議会議場で行います。

4の内容につきましては、市内小学校7校より各2名ずつ選出されました14名の子ども議員が、通告に基づき一般質問を行います。子ども議員の意見と提案に対しまして、事務を所管いたします部署の管理職が答弁をいたします。全14問に対し、9名の担当課長及び2名の主幹職が答弁をいたします。また一昨年より市内中学校の3校より生徒会に所属する生徒2名ずつ、計6名の生徒が議事進行等の運営と、子ども議員の質問、提案に対する講評を行っております。

続きまして、資料の25ページをお願いいたします。こちらには14名の子ども議員の氏名と質問内容、6名の講評者の氏名を掲載しております。

最後になりますが、コロナ禍も明けましたことから、今回傍聴者の入場制限は行わない予定でございます。教育委員の皆さまも、お時間、御都合よろしければ、ぜひ御来場いただければと存じます。なお市議会議員の皆さまにも御案内いたしているところでございます。私からの説明は以上でございます。

【教育長】 内容説明を終わりました。質疑ありましたらお願いいたします。今までのフルスペックというか、制限なしで今回はやりたいと思っていますので、どうぞよろしく、皆さま、お願いいたします。質疑ないようでしたら終わりたいと思います。よろしいでしょうか。

ではお諮りいたします。報告第28号は報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 御異議なしと認めます。よって報告第28号は報告のとおり承認されました。

次に、日程第6、その他報告事項について、事務局からはございませんが、委員の皆さまから何かございますか。よろしいでしょうか。

ないようですので、その他報告事項は終わります。

参考日程

教育委員会定例会の開催

令和6年10月25(金曜日)午前11時 市役所第二棟4階委員会室

【教育長】 最後に、次回の教育委員会定例会は、令和6年10月25日、福生市役所2棟4階委員会室にて開催いたしますので、御予定くださいますようお願いいたします。

本日の日程は全て終了いたしました。これもちまして令和6年第9回福生市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

(午前10時38分)